

広報

あしや

1993年 2月15日号
(平成5年)

No.629

毎月1日・15日発行

発行/芦屋市役所(公聴広報課)
☎0797-31-2121
〒659 兵庫県芦屋市精道町7番6号



外観もすっきりと



車内も広くなりました

消防本部 新鋭救急車を導入

消防本部では、平成四年度事業として進めていた、救急救命士が活躍できる最新装備を備えた高規格救急車を導入しました。排気量四千cc、二百二十馬力と、従来の救急車に比べ二倍のパワーがあり、価格は二千八百万円です。

車体も救急救命士が車内で活動しやすいよう大型化されており、従来の救急車の装備に加えて、心電図伝送装置や輸液ポンプ、喉頭鏡、自動式心臓マッサージ器、ショックパンツ、自動車電話、フックシミリなどの最新設備が備わっています。外観は全体に丸みを帯びたすっきりとしたデザインで、振動、騒音などの点にも配慮しています。

消防本部では、昨年九月から救急救命士の育成に取り組んでいます。現段階では、救急隊員が搭乗しますが、早ければ今年の夏ごろには新鋭救急車に搭乗した救急救命士が、第一線の現場で活躍する予定です。問い合わせは消防本部総務課係(☎0717)へ。

ラポルテ東館住宅分譲

JR芦屋駅北側に建設された、ラポルテ東館の住宅部分十八戸を次のとおり一般募集します。申し込み・問い合わせは、兵庫県住宅供給公社営業課(兵庫県公社館一階、☎078-232-9532)へ。

●間取り

三LDK(四LDK)

(七三・九二・八四・二三平方メートル)

●価格

九千八百二十万三千八百円
一億二千四百二十万五千五百円



ラポルテ東館西側外観

●住宅公開
二月二十六日(金)～二十八日(日)
午前十時～午後四時 現地
●用紙配布
二月二十六日(金)～三月七日(日)
①現地、ただし二十八日(日)まで
②兵庫県住宅建築総合センター
(けんみん住宅サロン公社コーナー)
JR三宮駅東百五十メートル、サンパルビル六階 午前九時～午後五時
ただし三月四日(木)は休み
③兵庫県住宅供給公社営業課
ただし二月二十七(土)、二十八(日)は休み
④市役所受付、ただし執務時間内
●申込期間
三月三日(水)～七日(日)
午前十時～午後四時
●抽選
三月八日(月) 午前十一時
●引き渡し
平成五年七月予定

市議会定例会の日程

平成五年第一回定例会は、二月二十六日に招集され、三月二十六日までの日程で開催されます。本会議・委員会の予定は次のとおりです。傍聴を希望される場合は日程が変更になることがありますので、お確かめのうえ、ご来場ください。

問い合わせは市議会事務局(☎2001)へ。

●二月二十六日(金)
本会議 施政方針説明等

●三月一日(月)～二日(火)
委員会 平成四年度分議案審査(補足説明、質疑・討論・採決)

●三月九日(火)
本会議 平成四年度分議案処理、総括質問

●三月十日(水)
本会議 総括質問、平成五年度分委員会付託

広報ビデオが入賞

第四十回兵庫県広報コンクール(広報ビデオ部門)において、本市制作のビデオ「松の木陰に」(芦屋市谷崎潤一郎記念館)が入賞し、さる二月四日(木)、兵庫県民会館で表彰を受けました。

このビデオは、谷崎潤一郎記念館を紹介するとともに、芦屋ゆかりの文学者谷崎潤一郎をより親しみやすく理解してもらえるよう制作したもので、上映時間は約二十四分間で、希望者には貸し出しも行っています。問い合わせは公聴広報課(☎2006)へ。

芦屋の美術—大正・昭和・平成—

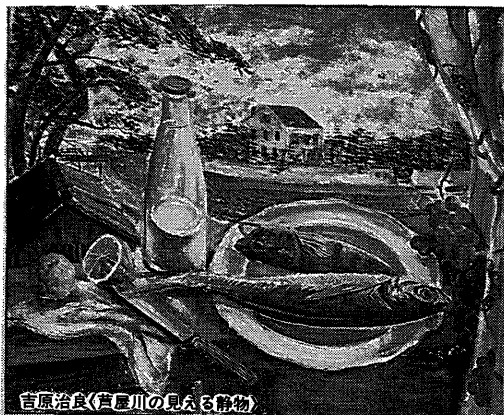
2月20日(土)▶4月4日(日) 月曜日休館

美術博物館/午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)
一般500円・大高生400円・中小生は無料

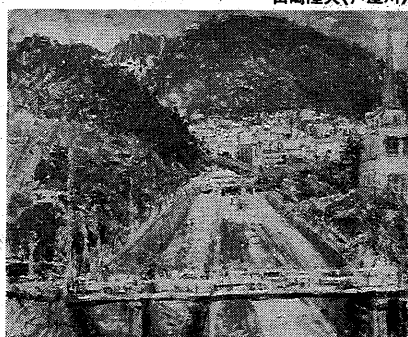
美術博物館では、自主企画展を通じて芦屋と美術の係わりについて調査・研究を続けています。

今回の展示ではそれぞれを時代に分けて、芦屋の持つ個性的な雰囲気と、そのなかで名作を生み出してきた数多くの美術家たちのつながりを探り、現在に至るまでの芦屋の美術を見つめようとするものです。

問い合わせ 美術博物館☎38-5432



吉原治良(芦屋川の見える静物)



山崎隆夫(芦屋川)

●ホール展示
二月二十日(土)～三月二十一日(日)
—空間と彫刻—
藤 浩志 作品展「さよなら蛙達」

ご・あ・ん・な・い

募集

阪神福祉事業団職員および臨時職員(職員) (4月1日採用予定) ●職種・人数・応募資格①保母・指導員・寮母若干名(25歳未満、短大卒以上)②調理人2人(免許または経験あり、40歳未満) ●給与・待遇③給料、短大卒18万円以上、その他手当て有●試験日④3月2日●申し込み⑤2月26日まで ●職種・人数・応募資格⑥臨時職員 ●職種・人数・応募資格⑦保母・指導員・寮母若干名⑧薬剤師1人、いずれも40歳未満 ●給与・待遇⑧日給7600円(週3日以上勤務、別途交通費支給)⑨時給1400円(週2日勤務、別途交通費支給) ●申し込み⑩随時 問い合わせは、阪神福祉事業団 ☎07-8-903-1661へ。

お知らせ

12月は児童手当の支給月です 児童手当の10月から1月分までを2月15日(月)に指定の口座に振り込みしますのでご確認ください。児童手当の受給資格(所得制限あり)は次のとおりです。 ①平成3年1月2日以降生まれの児童を養育しているかた ②18歳未満の児童を2人以上養育し、かつ4歳未満の児童を養育しているかた。 なお、昭和63年生まれの子供は法改正により平成4年12月までの支給となります。問い合わせは、保険年金課年金係 ☎38-2036へ。

1通学バス定期一部助成

奥池町・奥池南町に居住し、バス定期券を購入して、国・公立および私立の小・中学校に通学している児童・生徒の保護者に、定期代の一部を助成します。 ●助成額…実際に購入したバスの定期代から市内線の定期代を差し引いた額の2分の1 ●申し込み①3月1日(月)から10日(水)までに山手小学校・山手中学校在学は各学校へ、その他の小中学校在学は教育委員会総務課 ☎38-2085へ

1第16回アジア景観シンポジウム'93

●日時①2月26日(金)18時~20時30分 ●会場②市民センター218室 ●内容③芦屋の自然、教育委員会・古市景観 ●費用④500円 ●問い合わせ⑤みどり景観課 ☎38-2075

1春の全国火災予防運動

点検を重ねて楽しく「火災ゼロ」防火対象物の立入検査とあわせて住宅の防火診断を行います。 ●期間①3月1日~3月7日 ●問い合わせ②消防本部予防課 ☎32-2345

納期

○固定資産税・都市計画税第4期(2月1日~3月1日) ○法人市民税・事業所税(12月決算法人) 今月が納期です。忘れずに期限内に納めましょう。納付には便利な口座振替をご利用ください。

表1 職員の平均給料月額・平均年齢の状況(平成4年4月1日現在)

Table with 5 columns: 区分, 一般行政職, 技能労務職, 平均給料月額, 平均年齢. Rows include 芦屋市 and 国.

表2 職員の初任給の状況(平成4年4月1日現在)

Table with 5 columns: 区分, 芦屋市, 国, 初任給, 採用2年経過日給料額. Rows include 一般 and 行政職.

表3 職員の経験年数・学歴別平均給料月額の状況(平成4年4月1日現在)

Table with 5 columns: 区分, 経験年数10年, 経験年数15年, 経験年数20年, 大学卒, 高校卒. Rows include 一般 and 行政職.

(注) 経験年数とは、卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合は、採用後の年数をいいます。

表4 一般行政職の級別職員数の状況(平成4年4月1日現在)

Table with 8 columns: 区分, 1級, 2級, 3級, 4級, 5級, 6級, 7級, 計. Rows include 標準的な職務内容, 職員数, 構成比, 1年前の構成比, 5年前の構成比.

(注) 1.市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。 2.4級・6級については、平成3年4月1日から実施。 3.標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職名です。

表6 退職手当の状況(平成3年度支給率)

Table with 5 columns: 区分, 芦屋市, 国, 自己都合, 勲奨・定年. Rows include 勤続20年, 勤続25年, 勤続35年, 最高限度, その他の加算措置, 退職時特別昇給, 1人当たり平均支給額.

(注) 1人当たり平均支給額は、平成3年度中に退職した職員に支給された平均額です。本市の退職手当は、昭和63年度に改正を行い、勲奨退職および定年退職の最高支給限度額は、段階的に削減し、平成6年度以降は国並みの62.7月分になります。

表7 調整手当の支給状況(平成4年4月1日現在)

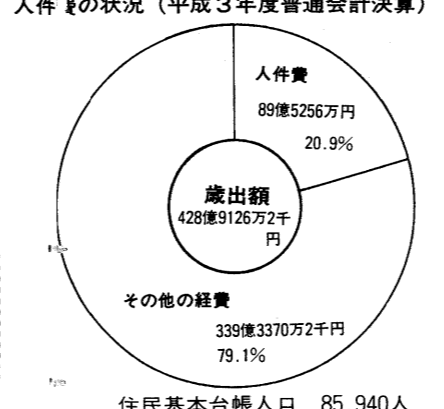
Table with 3 columns: 支給率, 支給対象員数, 国の支給率. Rows include 支給率, 支給対象員数, 国の支給率, 支給対象職員1人当たり平均支給年額(3年度決算).

市職員の給与の状況



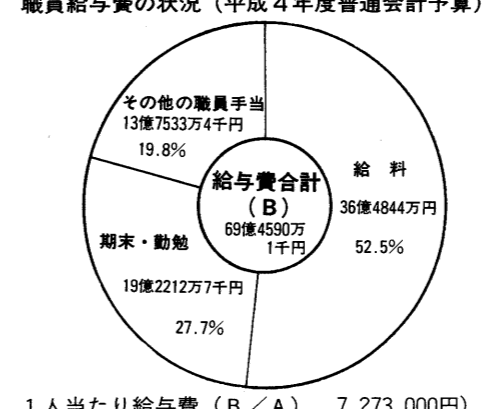
市庁舎北館と南館

グラフ1 人件費の状況(平成3年度普通会計決算)



住民基本台帳人口 85,940人 (平成4年3月31日現在) 1人当たり給与と費(B/A) 7,273,000円(職員数(A) 955人) (注) 人件費とは一般職に支給する給与、特別職の報酬等のほか共済組合負担金、公務災害負担金等を含んだものです。

グラフ2 職員給与と費の状況(平成4年度普通会計予算)



1人当たり給与と費(B/A) 7,273,000円(職員数(A) 955人) (注) 給与と費は当初予算に計上された額であり、職員手当には、退職手当を含みません。

表5 期末・動勉手当の状況(平成3年度支給割合)

Table with 3 columns: 区分, 芦屋市, 国. Rows include 6月期, 12月期, 3月期, 計, 職制上の段階、職務の級等による加算措置.

表8 特殊勤務手当の状況(平成3年度)

Table with 3 columns: 区分, 全職, 職. Rows include 職員全体に占める手当支給職員の割合, 支給対象職員1人当たり平均支給年額, 手当の種類(手当数), 代表的な手当の名称.

表10 その他の手当の状況(平成4年4月1日現在)

Table with 3 columns: 区分, 芦屋市, 国. Rows include 扶養手当, 住居手当, 通勤手当.

表11 特別職の報酬等の状況(平成4年4月1日現在)

Table with 3 columns: 区分, 給料月額, 調整手当, 合計. Rows include 市長, 助役, 収入役.

(注) 上記の報酬等は、平成4年2月の特別職報酬等審議会の議に基づき、市議会の議決を経て、同年4月から適用しています。

表9 時間外勤務手当の状況(平成3年度)

Table with 3 columns: 3年度, 支給総額, 職員1人当たり支給年額. Rows include 3年度, 2年度.

ラスパイレズ指数(国家公務員の給料を100として市の一般行政職員の給料と比較)は、平成4年4月1日現在で106.4となり、前年より0.6ポイント低くなっています。

市民の皆さんに市職員の給与の状況を広く知っていただくため、その実態を公表します。市の一般職の職員の給与は、地方公務員法に基づき、生計費や国家公務員および他都市の職員の給与、民間企業従事者の給与との均衡等を考慮し、職員団体等と協議したうえで、また、市長、助役および収入役の

市議会の議決を経て市の条例で定められています。職員給与には、毎月支給される給料と扶養手当、住宅手当、通勤手当等の諸手当と民間企業の賞与に相当する期末動勉手当からなっています。(グラフ1②、表1①③参照) 問い合わせは、職員課 ☎38-2020へ。

給料と市議会議員の報酬は、市民の中から選任された委員で構成する「特別報酬等審議会」で審議され、市議会の議決を経て条例で定められます。(表1③参照) 問い合わせは、職員課 ☎38-2020へ。

表1 4年度各会計現計予算額および執行状況(平成4年12月31日現在)単位:千円

Table with 4 columns: 会計区分, 現計予算額, 収入済額, 支出済額. Rows include 一般歳入, 特別会計, 一般会計.

表2 主要事業の執行状況(平成4年12月31日現在)単位:千円

Table with 3 columns: 事業名, 予算額, 支出済額. Rows include 市庁舎整備事業, すくすく学級・(仮称)芦屋市障害者デイサービスセンター建設事業, 環境処理センター施設整備事業, etc.

(注) 上記の金額は、人件費等の事務費を除いています。

表3 平成4年度の基金の使途予定 単位:千円

Table with 4 columns: 基金名, 3年度末現在高, 平成4年度使途予定金額, 使途内容. Rows include 財政基金, 減債基金, 退職手当基金, etc.

公共施設等整備基金の利用状況 単位:千円

Table with 2 columns: 事業名, 単位数. Rows include 市庁舎整備事業(繰越分含む), 市街地再開発事業, 改良住宅建設事業, etc.

財政事情を公表します 平成4年4月~12月

しかしながら、歳入を厳しく見込んで当初予算を編成したこと、前年度の剰余金が十億円余り生じたことなどにより、引き続き健全な財政運営が維持できる見込みです。また、再開発事業、改良住宅建設事業、環境処理センター

施設整備事業等の大型建設事業に、国庫支出金のほか、市債の発行や基金の活用により、計画的に事業を進めています。各会計の現計予算額および執行状況

主要事業の執行状況は表1および表2のとおりです。また、市では、各方面からいただいた寄付金や資金を積み立てており、今後、その元本や利子を有効的に活用する予定です。基金の種類や使用目的は表3のとおりです。問い合わせは、職員課 ☎38-2020へ。

いきいき人生80年 あしやホームケアセンター. Advertisement for home care services including health checks, medication management, and companionship.

春休み親子施設見学会. Advertisement for a parent-child facility visit including a lunch and a boat trip on Lake Biwako.

赤い羽根共同募金運動. Advertisement for a fundraising campaign for disaster relief and social welfare.

こちら消費生活センターです. Advertisement for a consumer life center providing information on prices and services.

市民参加のまちづくりをめざして



「生涯学習フォーラム」を開催

本市では、平成二年度から三年間、文部省から生涯学習モデル市の指定を受け、数々の生涯学習に関する事業を開催しました。

このたび、そのしめくくりとして、一月二十三日(土)、ルナ・ホールにおいて、「市民が創る生涯学習のまち 芦屋」をテーマに「生涯学習フォーラム」を開催しました。

当日は、県立芦屋南高校の邦楽部による琴の演奏にも花を添えていただき、曇り空の寒い日にもかかわらず、市民の方々と約八百人が参加しました。

この記録的な入場者数は、人びとが文化活動やスポーツ活動などの生涯学習に寄せる関心と意欲の高さを示しているものと考えられます。

生涯学習をめぐる白熱した対話

シンポジウムでは、コーディネーターの木村治美さん(共立女子大学教授)が「個性が尊重される社会では自分の身は自分で守る姿勢が求められる。生涯学習とは、生き方の変化に対応するための試みです」と発言したのに対し、パネリストの藤本義一さん(作家)は「まちづくりは人づくりであり、人が文化をつくる。文化は生の意見をぶつけ合って生まれる。人は百死に死なぬ、だから百生のことを考えるのが文化である」と述べた。また、新堀通也さん(武庫川女子大教授)は「生涯学習は、生きがい、孤独にならない、世代の断絶を埋める、開かれた世界をつくるなどのために是非必要である」と提言した。P・H・フアウストさん(帝塚山学園短大教授)は「外国人は日本の文化を学びたがっている。市民も積極的に交流してほしい」と長い日本在住

地道な研究の成果を発表



第13回芦屋市立学校自由研究発表大会
～ルナ・ホール～

去る1月16日(土)市内9小学校の6年生と3中学校の各代表が夏休みの自由研究の成果を発表しました。

12人の子どもの研究は、私たちの身近にある事柄に目と心を大きく見開き、「なぜだろう。どうしてだろう」と疑問を持つことからスタートしています。

小野真希子さん(精道小)は「芦屋の町名の由来について」調べるため市立図書館で資料を探したり、近所のお年寄りに聞いたり、市内を歩いて道標や神社をカメラにおさめたりしているうちに芦屋がこれまで以上に身近に感じられ、その歴史にますます興味を持つようになった、と発表してくれました。

「カビの研究をして」の野々口聡史君(山手小)はにんにくの殺菌力に興味を持ち、しょうが、練りがらし、粉わさび、梅干し、塩水、砂糖水にまで対象を広げ、その殺菌作用とカビの発生率の関係を2週間かけて調べました。その結果、にんにくと練りがらしはカビの発生率が低いことを発見しました。

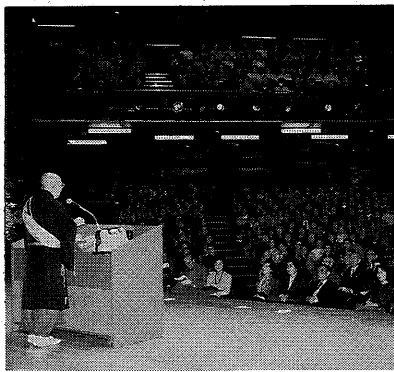
岩園小の西野恵里さんは「古代米」について発表しました。

古代米である赤米と黒米を分けてくれるという新聞記事を見付けると、さっそく申し込んだそうです。5月にもみまきし、10月に刈り取り、脱穀・精米し、試食しています。実に6カ月間にわたって研究に取り組んでいます。黒米はおいしく、赤米は口の中でパサパサしておいしくはなかったそうですが、古代人が食べたお米の一粒一粒が私たちが食べているお米とつながっていると思うとお米が尊いものに思えます、と話してくれました。

12人の発表者はスライドや写真、ビデオ等利用してわかりやすく説明してくれました。どの子も好奇心を単なる好奇心に終わらせず、深い探求心を持って研究しています。しかも何日もかけて研究課題を追い、記録しています。一番長く続けたのは、助野沙代子さん(山手中)で昭和61年から平成4年まで7年もの間「蟬のぬけがら調べ」という同じテーマで研究を続けました。そして自然の急激な変わり方を心配し、住みやすい地球にしなければと結んでいます。

このほかの発表者は次のとおりです。(敬称略)

☆なぜ、とうふは浮くのだろう 松本恵理(宮川小) ☆雷と台風について 吉田博博(朝日ヶ丘小) ☆縄文クッキング 助野希代子(三条小) ☆いろいろなせんの燃え方について 谷本絢美(潮見小) ☆芦屋川の水質調査 馬場亘(打出浜小) ☆マイナス73度の中で 柴田悠佑(浜風小) ☆さびの研究 塚原敏生(精道中) ☆アジサイの花の色 端純子(潮見中)



「日本の心」に願いをこめて

シンポジウムの後、薬師寺管主の高田好胤師が「日本の心」をテーマに記念講演し、ユーモアたっぷりに、「日本の心とは、喜びと感謝と敬いの心である」などと、人として、日本人としての奥ゆかしい心や生き方について語った。

まちづくり
●功労団体表彰
地域での学習活動やサークル活動、福祉活動などを通じて、住みよい、心豊かな地域社会をつくる原動力として生涯学習のまちづくりを図るために貢献された九コミュニティ・スクールに感謝状がおくられました。

代表して打出浜コミスク、原委員長へ授与されました。

あの一ひとは 世界にひとり たいせつに
岩園小学校 4年 宮本 清士

このページは市教委で編集しています。内容についてのご意見・お問い合わせは社会教育文化課(☎38-2091)まで。

まちづくり貢献者を表彰

「芦屋の未来を考える」作文に応募され優秀賞に選ばれた四人のかたの表彰を行いました。いずれもアイデア性、論旨、表現力、実現性に富み、今後のまちづくりに生かされる優秀作品でした。

(十一月一日号の広報あしやで発表済み)

出演者・参加者から一言

●藤本義一さん
まちをあげて取り組めるような事がほしいものです。例えば、CCAテレビの普及など、もっと市民レベルで利用でき、まちのテレビとして皆で盛り上げるようなまちづくりもあるのでは。

●木村治美さん
芦屋の印象は、一口で言うと、おしゃれな町ですね。

新しいものと、古いものが調和を保ち、新しいまちづくりに期待できる楽しみな町です。

●佐藤 恵さん(高浜町在住)
今回のフォーラムはよい企画でした。子育て中の若い人たちに参加してほしいかと思うます。参加して、私は爽やかな気持ちで帰途につきました。

オリバーとオリビア

突然ある朝、どひ出した、みんなのついでに

【第69回 ルナ・ホール名画観賞会】

とき 鳥たちの戦争 オリバーとオリビア
3月21日(日) ぼくときどき ぶた

前売料金 700円(当日1000円)
(4歳より大人も子どもも同じ)

1回目	2回目	3回目
10:00	12:15	2:30

※前売券は下記の所で取り扱っています

- 喫茶ルナ・ロッサ (市民センター2F)
- チケット・セゾン (☎06-308-9999)
- 芦屋セルヴィス (JR芦屋駅)
- チケット・ぴあ (☎06-363-9999)
- ダイエー芦屋浜店
- コープカウンター芦屋店 (ラポルテ東館3F)

公演予告!

4・17(土) 桂 米朝 独演会

4・30(金) テレマン・イン・ルナ
『チェンバロ協奏曲の夕べ』

この「広報あしや」を公演当日ご持参の方は、当日券を前売券料金扱いとします。※前売券が売り切れの場合は、当日券を発行しませんので、上記取り扱いも中止となります。

■問い合わせ■
ルナ・ホール協会
業平町8-24
☎31-4962